

## 第8回中日大健康医療オンラインフォーラム

### テーマ:「日中リハビリテーションの現状と進歩」

日程: 2023年3月23日(木)

時間: 19:00~21:30 日本時間 (18:00~20:30 北京時間)

会場: 中国の Web 会議アプリ Tencent VooV Meeting (TVM)によるオンライン会議

無料(どなたでも参加できます)

対象: 日中の医師、看護師、医学生、医療関係者、患者、大健康医療業界の企業家、投資者など

開催概要(予定):

プログラム	概要	
19:00~19:10 司会・通訳紹介	司会 岩崎 博(国際医療健康交流機構 IMH) 通訳 孟 華川(国際医療福祉大学)	
19:10~19:15 趣旨説明		<b>安達 勇 先生</b> 静岡県立静岡がんセンター 参与 公益財団法人日中医学協会 副会長
19:15~19:55 基調講演1		<b>辻 哲也 先生</b> 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授・教室主任 慶應義塾大学病院リンパ浮腫診療センター センター長 <b>がんのリハビリテーション診療</b> 周術期から緩和ケア主体の時期まで
19:55~20:05	協賛企業からのメッセージ	
20:05~20:45 基調講演2		<b>黄 富表 先生</b> 中国リハビリテーション研究センター作業療法科(OT科)主任 首都医科大学リハビリテーション医学部作業療法学教育 研究主任 <b>近赤外分光分析法(fNIRS)のリハビリテーション領域</b> における応用
20:45~21:20	講演者の対話・交流	
21:20~21:30	主催者挨拶 楊 明月(北京華益日盛健康科技有限責任公司 董事長)	

辻 哲也 先生

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授・教室主任  
慶應義塾大学病院リハビリテーション科 診療部長  
慶應義塾大学病院リンパ浮腫診療センター センター長

1990年 慶應義塾大学医学部卒業

1990年 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室研修医

1992年 同教室専修医

国立東埼玉病院、埼玉県総合リハビリテーションセンター等での勤務を経て、

1998年 慶應義塾大学病院リハビリテーション科医長

博士（医学）（慶大）「脳卒中片麻痺患者のフィジカルフィットネスに関する運動生理学的研究」

2000年 英国ロンドン大学(UCL)・国立神経研究所リサーチフェロー

2002年 静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション科 部長

2005年 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 専任講師

2009年 慶應義塾大学病院リハビリテーション科 診療副部長

2010年 慶應義塾大学医学部腫瘍センターリハビリテーション部門 部門長

2012年 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授

2020年 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授・診療部長・教室主任

2022年 慶應義塾大学病院リンパ浮腫診療センター センター長（重任）

現在に至る。

専門は、臨床神経生理学、障害者の運動生理学、悪性腫瘍（がん）のリハビリテーション、リンパ浮腫

【主な免許・資格】

リハビリテーション科専門医・日本リハビリテーション医学会指導責任者

日本臨床神経生理学会認定医 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

【主な学会活動等】

日本リハビリテーション医学会 代議員

日本臨床神経生理学会 代議員

日本癌治療学会診療ガイドライン委員会リハビリテーション分科会 委員

日本がんリハビリテーション研究会理事長

日本緩和医療学会 代議員

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員

日本嚥下医学会 評議員

日本サポーターズケア学会評議員、がんリハビリテーション部会 部会長、Cachexia 部会 委員

日本リンパ浮腫学会 監事

日本リンパ浮腫治療学会 理事

日本災害リハビリテーション支援協会 東京都代表

厚生労働省後援 がんのリハビリテーション研修運営委員会 委員長

厚生労働省後援 リンパ浮腫研修運営委員会 委員長

東京都リハビリテーション協議会 委員

【主な編著】

癌のリハビリテーション（編著・金原出版）

骨転移の診療とリハビリテーション（編著・医歯薬出版）

がんのリハビリテーション診療ガイドライン第2版（編著・金原出版）

がんのリハビリテーションベストプラクティス（編著・金原出版）

がんのリハビリテーションQ&A（編著・中外医学社）

がんのリハビリテーションマニュアル第2版（編著・医学書院）

### 【ご講演 抄録】

がん患者では、がんの進行や治療の過程で、高次脳機能障害、摂食嚥下・発声障害、運動麻痺、廃用性や悪液質による筋力低下・筋萎縮、関節拘縮、骨転移による病的骨折、浮腫など様々な機能障害が生じ、歩行や日常生活活動（ADL）に制限を生じ、生活の質（QOL）の低下をきたしてしまう。がんのリハビリテーション診療では、QOL向上を目指すサポーターティブケアの一環として、後遺症や合併症の軽減を目的とした治療前や治療中の対応、がん関連倦怠感、がん誘発認知機能障害、がん悪液質および骨転移のマネジメント、緩和ケアが主体となる時期の症状緩和や在宅での療養生活支援など、そのニーズは拡大しつつある。本講演では、病期・癌腫・治療目的別にがんのリハビリテーション診療の概要を解説する。

### 黄 富表 先生

博士 大学院メンター

現職： 中国リハビリテーション研究センター作業療法科(OT科)主任  
首都医科大学リハビリテーション医学部作業療法学教育研究主任

#### 履歴：

2013年4月～2016年3月 日本国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学 博士

2006年7月～2019年6月 中国リハビリテーション研究センター業務療法科 脳血管疾患の診断・評価・リハビリテーションを担当。部門の教育管理と科学研究管理を担当

2019年7月～現在、中国リハビリテーション研究センター作業療法科主任

#### 所属：

1. 国家衛生健康委員会「国家医療サービスプロジェクト技術基準」リハビリテーション team 専門家
2. 中国リハビリテーション医学会業務治療専門委員 副委員長
3. 中国障害者リハビリテーション協会リハビリテーション専門委員会副委員長
4. 中国医師会整形外科リハビリテーション専門委員会副委員長
5. 中国老年保健医学研究会高齢者保健サービス・標準化支部常務委員
6. 中国リハビリテーション医療機関連合リハビリテーション専門委員会常務委員
7. 北京リハビリテーション医学会青年委員会副委員長
8. 北京リハビリテーション医学会リハビリテーションセラピスト作業委員会副委員長
9. 「中国リハビリテーション理論と実践」誌原稿審査専門家であり、中国老年保健医学ジャーナル編集委員会のメンバー

#### 著書：

1. 《作業治療技術》（編集長） 2019年
2. 《日常生活活動》（編集長） 2023年4月発行予定
3. 《作業治療技術》（編集長） 2021年
4. 《リハビリテーション症例》（編集長） 2023年6月発行予定
5. 《臨床作業療法学》（副編集長） 2013年
6. 《認知障害の新しい理論と進歩》（副編集長） 2020年

### 【ご講演 抄録】

近赤外分光法（fNIRS：functional Near-Infrared Spectroscopy）とは、近赤外線の利用して、脳皮質のヘモグロビンの濃度の変化を測定し、血中の酸素化の状態や脳血流の変化を評価するもので

ある。この技術は登場以来、基礎研究、心理学、神経科学、脳機械インタフェース、運動科学と教育学などに広く応用されており、しかもどんどん普及している。fNIRS は、良い時間分解能 (ms レベル) と空間分解能 (cm レベル) を持ち、実際のリハビリテーション環境における脳の活性化状況をリアルタイムでモニタリングできるため、近年、リハビリテーション医学及びリハビリテーション治療の分野で急速な発展と応用を得ている。

今回の講演では、近赤外分光法を、原理、技術、タスク設計、データ解読、注意事項などの面から解説し、また、かつて行ったリハビリ治療分野での応用研究例を挙げて、近赤外分光法の実際応用状況を紹介する。

## 第 8 回中日大健康医療オンラインフォーラム

### テーマ:「日中リハビリテーションの現状と進歩」

主催: 日本 一般社団法人国際医療健康交流機構 (IMH)

中国 北京華益日盛健康科技有限责任公司

共催: 中日医学科技交流協会健康メディア分会

華益日盛株式会社

Media Support: 国家衛健委百姓健康テレビチャンネル、医学論壇網、中軽海外クラウド教室、  
繫康万家、英騰教育 (暫定)

#### 【お問合せ先】

日本 一般社団法人国際医療健康交流機構 (IMH) 岩崎 博 [h.iwasaki@imh.tokyo](mailto:h.iwasaki@imh.tokyo)

中国 北京華益日盛健康科技有限责任公司

牟美璇 [mxmu@huayirisheng.com](mailto:mxmu@huayirisheng.com) 18516525997 (同微信)

#### 【参加お申込みについて】

参加ご希望の方は一般社団法人国際医療健康交流機構 岩崎宛に

「第 8 回中日大健康医療オンラインフォーラム参加申込」

と書いたメールをお送りください。

宛先 [h.iwasaki@imh.tokyo](mailto:h.iwasaki@imh.tokyo)

岩崎より返信で参加にアクセスする URL をお送りいたします。

URL をクリックしてご参加いただけます。

#### 【システムについて】

VooV を使用しています。中国で広く使われているシステムです。+

こちらからダウンロードしてご登録ください。

<https://intl.cloud.tencent.com/jp/product/tvm>